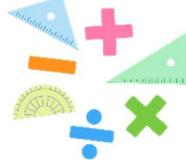




# 栗小だより



増刊号

令和5年10月  
敦賀市立栗野小学校



4月18日に小学6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は国語と算数の調査と質問紙による調査が行われました。その結果と分析から見えてきた、本校児童の特徴と課題についてお知らせいたします。



## 「教科に関する調査」の結果から

国語・算数ともに、よくできている設問がある一方で、自分の考えが伝わるように書き表すこと、見いだしたことを論理的に文章に表したりすること、複数のデータ（表・グラフ）の特徴を捉え考察したり、統合的に活用したりすることに課題があることが明らかになりました。また問題文を読み込み、題意を正しく捉え、論理的に解決するのではなく、直感的に解決しがちな傾向があることも明らかになりました。それらの結果を分析し、今後の対策をまとめました。

### ★国語

成果が表れている力 	課題となる力 
<u>情報の扱い方に関する事項</u> ◎文章を読んで原因と結果の関係を捉える力 ◎目的に応じて文章や図から必要な情報を見つける力 <u>読むこと</u> ◎中心となる語を見つけて要約する力	<u>言葉の特徴や使い方に関する事項</u> ▲同音異義語（「意外」と「以外」など） ▲相手や場面に応じて適切に敬語を使い分ける力 <u>書くこと</u> ▲図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表す力
<b>支援策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考を支えている語彙を豊かにし、考えを文章に表したり、言葉で述べたりするアウトプットの機会を大切にします。</li> <li>・聞き手に着目してほしい部分を明確にし、資料を使って説明する活動の充実を図ります。</li> <li>・相手や状況、文字数など、いくつかの条件を設定した作文を取り入れます。</li> </ul>	

### ★算数

成果が表れている力 	課題となる力 
<u>変化と関係</u> ◎伴って変わる2つの数量について、どのような関係が成り立つのかを予想したり、知りたい数量の大きさを求めたりする力 <u>数と計算</u> ◎示された式の意味を場面と関連付けて読み取る力	<u>図形</u> ▲図形を構成する要素に着目し弁別する力 ▲図から必要な情報を読み取り面積を求める力 <u>データの活用</u> ▲示された複数のグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりする力
<b>支援策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つまづきが多い内容（割合・図形）はタブレットも活用し、個に応じた習熟を図ります。</li> <li>・考え方や考えた根拠を説明し合う活動を増やし、適切に表現する力を伸ばします。</li> <li>・算数に限らず、図や表にまとめたり、情報を読み取ったりする学習の充実を図ります。</li> </ul>	

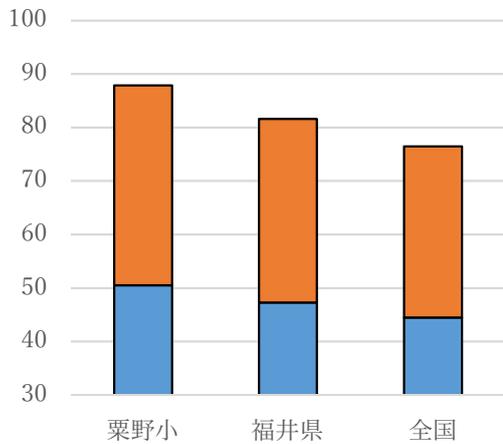


## 「質問紙」の結果から

■あてはまる  
■どちらかといえばあてはまる

### ★年々向上していることは…

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか

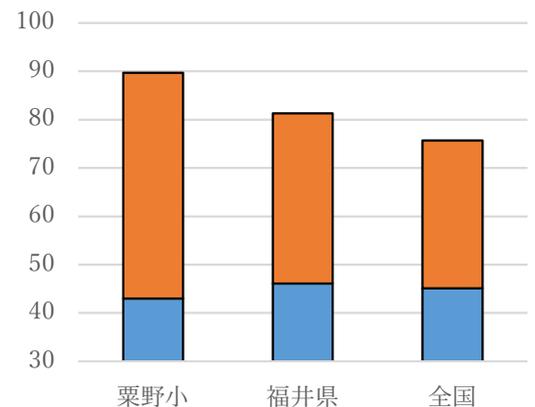


「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童が県・全国を上回っています。これは一人一人の学びを学級全体で共有するため、ペアやグループでの学習やタブレットを活用した協働学習を取り入れ、互いの学びを認め合い、充実感や一体感を味わえるような授業作りを工夫している成果と言えます。授業中、自分の学びにつなげるために、自分の考えとの共通点や違いを明らかにしながら友だちの考えをしっかりと聞こうとしている様子が見られます。今後も交流活動を通して、互いにより影響を与え合えるような授業を目指していきます。



「学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決定している」と答えた児童も多い傾向にあります。また、「友だち関係に満足している」、「生活の中で幸せな気持ちになることがある」と答える児童も多い結果となりました。このことから、学びの土台となる学級をよりよくするために児童が積極的に関わろうとしていること、学級や学校に安心して過ごせる場所があることが分かりました。これまで以上に学級での自治活動を土台として、認め合い、高め合える場となるよう居場所作りに努めます。

学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

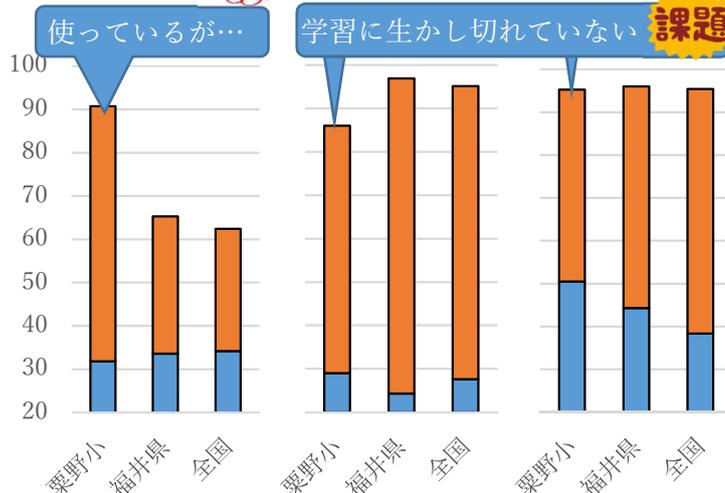


### ★課題は…

タブレットなどのICT機器を活用したか？

タブレットなどのICTは勉強の役に立つか？

学校以外で1日あたり1時間以上学習している



授業の中でタブレットを活用する場面は年々増えていますが、役に立つと答える児童は県・全国に比べて少なく、まだまだ有用性を実感できていないのが現状です。調べるだけではなく、意見交流・学習のまとめ・ドリル学習など使える場面を精選したり、全員が操作技能を身につけられるよう学年に応じた指導を工夫したりして活用の幅を広げていきます。「新聞・本を読んでいるか」の項目も県・全国平均を下回っています。教科の学習は好きですが、自発的に学習対象に関わろうとする姿勢が弱いようです。学びを広げられるよう教育活動のさらなる充実を図ります。